

新記録“12.33秒” 本場ドラッグ

2回目のトライでなんと12.33秒を叩き出し、バンテラーの浅谷氏をくやしげらせた驚異のマシン。すでに12.67秒という日本でのビートルの記録を持っていたが、ウエットにもかかわらずそれを上回る本誌ゼロヨン史上の

特別参加 **VWビートル 12.33秒** 天川丹(愛知県)

バッテリーもカブリンも400mを全開で走る分しかなかった



レコードも打ちたてた。チューニングはFFエンタープライズというアメリカの会社から直輸入したパーツがほとんどで、ドラッグレース専用のスペシャルマシンだ。タイヤは前ミシュラン135、後はドラッグ専用の

スリックで共に15インチだ。ボディはFRPとアクリルガラスでできており、シートもドライバーのみ、ブレーキもリアだけという徹底的な軽量化が図られている。

ベースは68年式ビートルだが、2087ccのエンジンはまさに怪物2連のウエーバー48φキャブが吸うのは航空機用ガソリンだ



天川氏の応援には、FFエンタープライズの社長、深谷氏もアメリカから駆けつけた

タイムがとれないのはとにかく残念！また出直しです(滝本哲哉・35才・会社員)



特別参加 **フェアレディ240ZG 14.54秒** 滝本哲哉(大阪府)



大阪府泉大津のカーショップ、F1からのエントリーで、賞典外の参加となった240Z。光電管がサイドのマフラーからの音に反応してしまうようで、10回近くトライしたがタイムをとれ

たのは1回のみという残念な結果に終わった。L28改の3097ccにソレックスの50φキャブを付け、ボグ&ベックのクラッチを活用、タイヤは前ワタナベの9JにビレリーP7R225 55-14、後SスターのマークIIにDLのなんとF2用スリック300 620 13を装着していた。

特別参加 **フェアレディ240ZG 14.55秒** 牧原道夫(大阪府)



大阪府八尾市のチャレンジの店長さんが、自分で作りあげたマシン。3097ccの排気量にスペシャルパーツを組みこんだチューンだけにタイムが期待されたが、ソレックス50φのセッティングとサイドマフラーにトラブルが発生して不本意なタイムに終わった。ルーフは1度切断して、約9cmも下げているというチョッピングZで、カラーリングも決まっていたのでドレスアップ賞に輝いた。



使いなれたレース用の44φでいけば、とドライバーは悔んでいた

名古屋にある昭和橋タイヤ守山店という、無名のショップでチューンされたサニーは、なんと12AロータリーにKKKのターボを、ドッキングさせていた。キャブはウエーバー48φで好記録が期待されたが、ゼロヨンGP前夜に載せたターボが不調で、残念ながらタイムは伸びなかった。



軽量小型のロータリーにKKKのターボを付け、サニーのデフと溶接してる

特別参加 **サニークーペ 16.46秒** 中村有勲(愛知県)



スペシャル雨をついで大逆転!